



医療法人稲仁会旭川脳神経外科病院(旭川市10条通21丁目、稲葉瑞江理事長、田之岡篤院長)に7月中旬、循環器内科が新設された。医学博士で心臓血管カテーテル治療専門医の稲葉芳絵氏(41)を迎え入れ、旭川では珍しい心筋梗塞、狭心症等の早期発見に威力を発揮する心臓ドックにも力を入れる。

稲葉医師は札幌市出身。

# カテーテル治療の専門医を迎え 旭川脳神経外科に循環器科新設

## 新鋭機器導入 心臓ドック 開始

の詰まりを発見する「マルチスライスCT」を新規導入した。

琉球大学医学部を卒業後、札幌医大病院第二内科に入局。その後、

カテーテル治療で年間306症例の実績を残したこともある。

「心筋梗塞は、長い年月をかけて血管の中にプラークと呼ばれる変性した脂質がたまり続け、そこにある日突然血栓が詰まった時に発症します。

このCT機器は冠動脈の狭窄の発見に使われるもので、大きな輪のような機械の中を身体がくぐり、数十秒ほど息を止めるだけで冠動脈の異常が分かる。

苦小牧や室蘭、函館の病院の循環器内科に勤務しながら内科医認定医、循環器専門医の資格を取り、札幌大学院も卒業して博士号を取得した。

心臓ドックは旭川ではまだ聞き慣れない言葉だが、全国的には近年、心臓病の早期発見に取り組む医療機関で導入が進んでいる。

つまり、事前に自分の冠動脈の状態を知っておけば発症を予防できる病気なのです。

心臓ドックは、こうした最新鋭機を駆使し、専門医の解析によって行われる。稲葉医師は「心臓病は予防できる病気です。旭川で心筋梗塞の患者さんがゼロになるよう啓蒙活動に力を入れていきたい」と話している。

2007年からは心臓カテーテル治療で有名な千葉県松戸市の千葉西総合病院や心臓血管外科循環器疾患

ある心筋梗塞は、一般的には胸が苦しいなどの前症状があつて発症すると思われているが、実際には7割以上が予期することなく発症しており、糖尿病を持つ人に至っては9割以上が突然発症している。また、前症状があつたとしても軽微で持続時間も1分程度と短いため、次に来る重大疾患を予見できないまま突然発症に至るケースが多い。

動脈硬化リスク(高血圧、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症、喫煙の既往など)のある方、もしくは男性なら65歳以上、女性なら75歳以上の方は、一度心臓ドックを受けていただくことが循環器医の視点からみて望ましいと思われまます」

同病院では循環器内科の新設に伴い、道内でも数少ない低被爆の最新鋭心臓カテーテル検査装置(SHIMAZU社)や、狭心症の原因となる冠動脈(心臓を取り巻く血管)

総合病院で知られる鎌ヶ谷ル室長、循環器部長を務めてきた。この間、心臓

こうした事態を予防できるのが心臓ドック。稲葉医師は次のように話す。

同病院では循環器内科の新設に伴い、道内でも数少ない低被爆の最新鋭心臓カテーテル検査装置(SHIMAZU社)や、狭心症の原因となる冠動脈(心臓を取り巻く血管)

川の医療界をリードしてきた同病院に、心臓カテーテル治療で実績を積み重ねてきた稲葉医師の循環器科が加わったことにより、市民の健康維持への安心感はいっそう高まっている。

の治療で知られる鎌ヶ谷ル室長、循環器部長を務めてきた。この間、心臓

こうした事態を予防できるのが心臓ドック。稲葉医師は次のように話す。

同病院では循環器内科の新設に伴い、道内でも数少ない低被爆の最新鋭心臓カテーテル検査装置(SHIMAZU社)や、狭心症の原因となる冠動脈(心臓を取り巻く血管)

川の医療界をリードしてきた同病院に、心臓カテーテル治療で実績を積み重ねてきた稲葉医師の循環器科が加わったことにより、市民の健康維持への安心感はいっそう高まっている。